

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

コロナ禍での公民館「夏休み子ども講座」

上道公民館「お料理教室」(8/6)

児童5名が食生活改善委員さん5名のマンツーマン指導により、韓国風巻き寿司づくりに挑戦しました。例年とは異なり、今年はテイクアウト。それでも子どもたちは「初めてやったので楽しかった」「うまくできてよかった」とうれしそうでした。衛生面をはじめ多くの配慮と準備によって、心に残る時間となりました。



境公民館「お話し教室」(8/7)

境児童クラブの児童36名が参加。会場は広い集会所で身体の接触が全くなく、窓やドアが開放され風がよく通る中、子どもたちは表情豊かに物語の世界に浸っていました。「お話ポケットの会」の皆さんはマスクやフェイスシールドをつけての読み聞かせや手遊びで大変だったでしょう。ありがとうございました！



一中校区が生んだ逸材

「愛国行進曲」の森川幸雄さん

戦時中の1937（昭和12）年、国民精神総動員の方針が閣議で決定され、「国民が永遠に愛唱すべき国民歌」の歌詞が内閣情報部から公募されました。その時、57,578点にのぼる全応募作の中から見事1等（総理大臣賞）に選ばれたのが、森川幸雄さん（当時23歳、入船町）の作品でした。彼は印刷業を営む家業を手伝いながら、日々親しんだ美保湾と大山の美しい景色を想いながらわずか2週間で書き上げました。

その歌詞は「時代にそぐわない」との理由で大幅に書き換えられましたが、その歌詞に「軍艦行進曲」で知られる瀬戸口藤吉が曲をつけた「愛国行進曲」は、明るく勇壮な曲想で、しばしば演奏されました。

愛国行進曲（1番）

み とうかい そら あ きよくじつか かがや
見よ東海の 空明けて 旭日高く 輝け

てんち せいき はつらつ きぼう おど おおやしま
天地の正気 洗滌と 希望は躍る 大八洲

おお せいろう あさくも そび ふじ すがた
お 清朗の朝雲に 聳ゆる富士の 姿こそ

きんおうむけつ ゆる
金甌無欠 揺ぎなき

わ にっぽん ほこ
我が日本の 誇りなれ

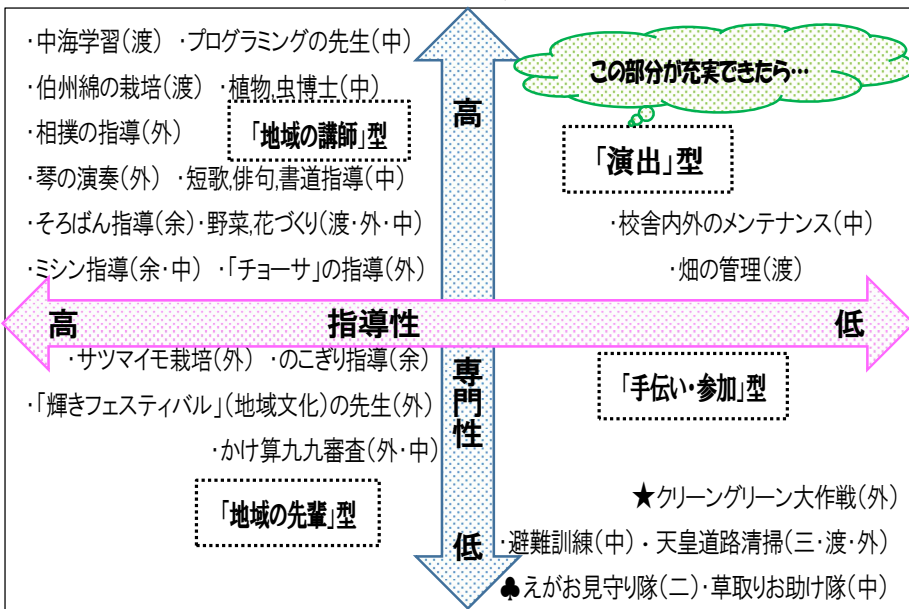


森川幸雄さん

特集その2

のぞいてみよう！他校区の学校支援活動

他校区で行われている学校支援活動を、No.24の表で紹介いたします。（予定も含む。公的機関の行事等は省略。）



★「クリーングリーン大作戦」は、小学校の除草だけでなく地域全体の美化を進める夏休み明けの環境整備活動で、CS始動前に始まりました。

♣「えがお見守り隊」は生徒の笑顔を校内で見守る活動で、地域の方なら誰でもOKということです。

学校支援活動によって児童生徒・教職員・地域住民の誰もが一層輝く、そんな一中校区にしたいですね。

凡例 (渡) 渡(外) 外江(余) 余子(中) 中浜(数字) 中学校

※分類や感想はあくまで筆者の独断です。